

1. くらし



学習の目的とテーマ

地球温暖化は、気候の変化や海面の上昇などを引き起こします。その結果、自然環境や人々の暮らし、健康などに大きな影響を及ぼすことが危惧されています。地球温暖化は地球規模の問題ですが、その原因や解決策は私たち一人ひとりの日々の暮らしに直結しており、日常生活や産業等の様々な活動を環境の視点から見直すことが重要です。

このプログラムでは、私たちの暮らしと環境や地球温暖化とのつながり、そして私たちには何ができるかを考えることを目的に、「食」「地球温暖化」「大気環境」「防災」について学習します。

分野	学習内容
食	【①チラシ探偵団】 スーパーのチラシの食品に記載されている産地表示を手がかりに、食品が県外や国外などいろいろなところから運ばれてきていることに気づき、食品の輸入から見える食料自給率、地産地消について考える。
	【②カーボンフットプリントってなんだろう？】 食品などのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスを CO ₂ に換算する「カーボンフットプリント」という概念を使って、私たちの食生活と環境への影響について考える。
	【③エコロジッククッキング】 普段の買い物や料理をすることからフードマイレージやごみの減量について学び、どのような行動や選択が環境にやさしいか気づき、地球環境のために普段の生活でできることを考える。
地球温暖化	【④地球温暖化を体験しよう】 身近な道具で装置を作り地球温暖化を体験する実験を通して、地球温暖化が起こるメカニズムを学習し、自然災害や環境への影響の要因に気づき、私たちにできる地球温暖化対策について考える。
	【⑤CO₂CO₂ダイエット】 CO ₂ を減らす行動を実践することで、エネルギーの消費が抑えられ、家計にもやさしいことに気づき、私たちにできる地球温暖化対策について考える。
	【⑥ウェビングで地球温暖化を考える】 クモの巣を張るように考えを広げていく手法「ウェビング」で、地球温暖化から派生する様々な問題や事象のつながりに気づき、地球温暖化の影響や解決に向けた行動について考える。

くらし

分野	学習内容
大気環境	<p>【⑦メッツチャレンジ】 車に乗らず歩き、活動量から消費カロリーを計算することを通して、歩くことが肥満防止など健康に良いだけではなく、大気汚染を防止する行動になることに気づき、車の利用と大気汚染、健康について考える。</p>
	<p>【⑧エコカー探検隊】 車から出る排気ガスが及ぼす影響と、環境にやさしいエコカーの種類や仕組み、普及に向けた課題などを調べることで、車による大気汚染について考える。</p>
	<p>【⑨きれいな空気で満天の星空を】 星空観察を通して、きれいな空気、夜の暗さの大切さに気づき、大気汚染や光害等が及ぼす影響について考える。</p>
防 災	<p>【⑩ダンボールトイレを作ってみよう】 災害時には電気や水がストップトイレが使えなくなることに気づき、ダンボールトイレ作りで、自助力の向上や災害について考え、行動する力を身につける。</p>
	<p>【⑪家族で考える台風対策】 沖縄の身近な自然現象「台風」と対策について、家族で「いつ」「誰が」「何を」やるのかを話し合うことで、台風による災害について考え、行動する力を身につける。</p>
	<p>【⑫わが家の防災マップ】 私たちが暮らす地域を歩きながら、災害時に危険な場所や役に立つものを地図に書き込んだ「防災マップ」を作り、地域を防災の観点で見ること、災害時の情報を収集する力や、行動する力を身につける。</p>

参考資料

プログラム名	参考資料名
①チラシ探偵団	①食料自給率（P249） ②フード・マイレージ（P251）
②カーボンフットプリントってなんだろう？	③エコロジカル・フットプリント（P252） ④フェアトレード（P254）
③エコロジッククッキング	①食料自給率（P249） ②フード・マイレージ（P251） ④フェアトレード（P254） ⑪沖縄のごみ・リサイクル事情（P273）
④地球温暖化を体験しよう	⑤地球の大気（P256） ⑥地球温暖化（P257）
⑤CO ₂ CO ₂ ダイエット	⑤地球の大気（P256） ⑥地球温暖化（P257）
⑥ウェビングで地球温暖化を考える	⑦カーボン・オフセット（P263） ⑨車社会（P268）
⑦メッツチャレンジ	⑥地球温暖化（P257）
⑧エコカー探検隊	⑤地球の大気（P256） ⑨車社会（P268）
⑨きれいな空気で満天の星空を	⑤地球の大気（P256）
⑩ダンボールトイレを作ってみよう	⑤地球の大気（P256） ⑥地球温暖化（P257）
⑪家族で考える台風対策	⑧未来のエネルギー（P265） ⑨車社会（P268）
⑫わが家の防災マップ	⑤地球の大気（P256）

2. ごみ



学習の目的とテーマ

県民の生活様式の多様化や消費意識の変化等により、排出されるごみは多岐にわたる一方で、最終処分場のひっ迫が顕在化しており、廃棄物処理をめぐる状況は依然として厳しい状況です。さらに、廃棄物処理は、温室効果ガスの排出による地球温暖化問題、天然資源の枯渇の懸念、大規模な資源採取による自然破壊など、様々な環境問題にも密接に関係しています。

このプログラムでは、ごみの問題や3R（リデュース、リユース、リサイクル）、そして私たちには何ができるかを考えることを目的に、「廃棄物」「資源」について学習します。

ごみ

分野	学習内容
廃棄物	【⑬海岸清掃をしてみよう】 海岸にはどのようなごみがどこから来ているのかを調べ、世界中のごみが海を漂っていることに気づき、世界のごみ問題や環境への影響、海の生態系への影響について考える。
	【⑭意外なところにプラスチック】 海岸のごみの中から、マイクロプラスチックをふるい分けて観察し、微小で自然分解できないごみが海を汚染していることに気づき、プラスチックごみがなぜ問題なのか、私たちにはどのような行動ができるのかを考える。
	【⑮分けたらどうなる？ごみの分別】 ごみの分別やごみの行き先について学び、分別の理由や必要性、ごみがどう処分されているのか気づき、資源化やごみを減らすために私たちができる行動について考える。
資源	【⑯エコロジーイベントを開催しよう】 「環境」をテーマにしたイベントを企画し、ごみをできるだけ出さないイベントの運営方法を計画、実践、事後評価を行う。さらに、これらの課題や改善点に気づき、見直しを行うことで、環境にやさしいイベントのステップアップにつなげる。
	【⑰捨てるものが役に立つとき】 ごみになるはずの材料から紙を作ることで、暮らしの中でごみを再利用する工夫ができることに気づき、リデュース、リユース、リサイクルについて考える。

参考資料

プログラム名	参考資料名
⑬海岸清掃をしてみよう	⑪沖縄のごみ・リサイクル事情（P273） ⑫海洋ごみ（P278）
⑭意外なところにプラスチック	⑲観光と環境負荷（P317）
⑮分けたらどうなる？ごみの分別	⑪沖縄のごみ・リサイクル事情（P273） ⑲観光と環境負荷（P317）
⑯エコロジーイベントを開催しよう	⑦カーボン・オフセット（P263） ⑪沖縄のごみ・リサイクル事情（P273） ⑲観光と環境負荷（P317）
⑰捨てるものが役に立つとき	⑪沖縄のごみ・リサイクル事情（P273）

3. 水



学習の目的とテーマ

水は地球上のすべての生命の源であり、他に代替物のない貴重な資源です。私たちが日常生活や経済活動を営む上で水は不可欠ですが、このような水の大切さを忘れがちです。しかし、現在、世界人口の増加、開発途上国の経済成長、気候変動などにより、世界規模での水資源問題が発生しています。これらに対応するため、日本を含めた国際社会による水資源問題解決に向けた取り組みが進められています。（国土交通省 HP より）

このプログラムでは、水が有限であることや水の大切さに気づくこと、そして私たちには何ができるかを考えることを目的に、「水循環」「水利用」「世界の水事情」について学習します。

分野	学習内容
水循環	<p>【⑩水の旅】 私たちが普段使っている水がどこから来るのかを学習し、水が有限であることに気づき、水源、生活排水、水利用の現状などから私たちの生活と水の関わりについて考える。</p>
水利用	<p>【⑱水の使用量調べ】 私たちが生活の中でどのくらいの水を、何に使っているのかを調べ、水の大切さに気づき、私たちができる節水方法について考える。</p>
	<p>【⑳パックテストで水質調べ】 COD 測定や BOD 計算から河川の水質について調べ、私たちの生活から出てくる「生活排水」と河川の汚れの関係について気づき、水の汚れによる川や海の生きものへの影響について考える。</p>
世界の水事情	<p>【㉑安全な水が飲めるのは？】 水汲みを行う子どもの映像を見て、感じたことを自由に発言することで、国によって水との関わり方が違うことに気づき、貧困、教育、衛生問題など、世界の様々な水問題について考える。</p>

参考資料

プログラム名	参考資料名
⑩水の旅	⑬地球の水（P279） ⑭沖縄の水（P281）
⑱水の使用量調べ	⑭沖縄の水（P281）
⑳パックテストで水質調べ	⑱沖縄の土（P294）
㉑安全な水が飲めるのは？	⑬地球の水（P279） ⑭沖縄の水（P281） ⑮仮想水（バーチャル・ウォーター）（P288）

4. 自然



学習の目的とテーマ

一年中温暖な沖縄の気候は、豊かで独特の自然環境を形成し、様々な動物や植物を育ててきました。ここだけにしか生息・生育しない種も多く、沖縄は「生物の宝庫」とも言われます。沖縄の自然は、かけがえない大切なものです。私たちは、この豊かな自然を無秩序な開発から守り、次の世代に残していかなければなりません。

このプログラムでは、沖縄の自然に触れることや自然環境保全、そして私たちには何ができるかを考えることを目的に、「生きもの」「共生・多様性」「自然と暮らし」「外来生物」について学習します。

分野	学習内容
生きもの	<p>【22】バタフライウォッチングで緑の環境を診断しよう】 公園や森林など、様々な場所でチョウを観察し、確認したチョウの種類から緑の環境が見えることに気づき、身近な自然環境について考える。</p>
	<p>【23】バードウォッチングで鳥が暮らす環境を考えよう】 自宅の庭、公園、川、干潟、森林など、様々な環境に生息する野鳥を観察し、沖縄が渡り鳥の重要な休息地であることに気づき、鳥から見える沖縄と世界の環境とのつながりについて考える。</p>
	<p>【24】沖縄のどんぐり探検】 沖縄に自生するどんぐりの木を観察し、樹木の特徴、生育環境を学習し、森林の重要性や本来の自然について気づき、森林保護について考える。</p>
	<p>【25】あなたは海の何番地？】 沖縄を代表する海の自然「サンゴ礁」とその環境に暮らす生きものを観察し、底質（岩場や砂地）や水深といった地形と、そこに住む生きものとの関係に気づき、海の生態系について考える。</p>
共生・多様性	<p>【26】地域固有の生きものを探そう】 地域の名前がついている生きものについて学び、沖縄が国内でも生物多様性の高い地域であることに気づき、その自然を守ることの重要性を考える。</p>
	<p>【27】世界に誇れるやんばる・西表の自然】 世界でも有数の生きもの宝庫であるやんばる・西表島の自然を観察し、世界に二つと無い自然の重要性に気づき、これらの地域と野生生物を取り巻く環境問題について考える。</p>
	<p>【28】自然をつなぐネットワーク「ピオトープ」を作ろう】 身近な自然を観察し、私たちの暮らしに地域の自然を取り入れる「ピオトープ」を作ることで、自然の連続性に気づき、地域の自然をつなぐネットワークの役割について考える。</p>



5. 五感



学習の目的とテーマ

私たちは、「見る」、「聞く」、「嗅ぐ」、「触る」、「味わう」という五つの感覚を持っています。沖縄の豊かな自然を「聞く」「触る」「見る・嗅ぐ・味わう」の五感で体感し、楽しみながら身近な自然に触れるプログラムです。また、プログラムを通して、感性や表現力を身につけます。

分野	学習内容
聞く	<p>【③③身近な鳥の声を聞いてみよう】</p> <p>身近な鳥を見分けるなど、周りの自然に親しむことを大きな目的とし、鳥の鳴き声を音や言葉に例えたりすることで、表現力や想像力を育み、相手に伝える力を身につける。</p>
触る	<p>【③④身近な植物を触ろう】</p> <p>身近な緑の環境に親しむことを大きな目的とし、葉の特徴を観察し、名前をつけることで、表現力や想像力を育み、個々が持っている感性を高める。</p>
見る・嗅ぐ・味わう	<p>【③⑤身近な自然を見よう！嗅ごう！味わおう！】</p> <p>身近な小さな生きものに親しむことを大きな目的とし、擬態する動物を見つけることで、身近な動物に関心を持ってもらう。また、植物の匂いを嗅いだり、味見をしたりすることで、身近な植物に関心を持ってもらう。</p>

参考資料

プログラム名	参考資料名
③③身近な鳥の声を聞いてみよう	②⑩沖縄の野鳥（P300）
③④身近な植物を触ろう	①⑨沖縄の森や林（P298）
	②⑥沖縄の自然と暮らし（P313）
	②⑧自然公園及び自然観察マップ（P316）
③⑤身近な自然を見よう！嗅ごう！味わおう！	②⑥沖縄の自然と暮らし（P313）
	②⑧自然公園及び自然観察マップ（P316）